

会議録

会議の名称	社会教育委員の会議（2月定例会）会議録
開催日時	平成26年2月17日（月曜日）午後2時から4時まで
開催場所	保谷庁舎3階 会議室
出席者	委員：須永議長、内田副議長、岩崎委員、屋宮委員、川崎委員、木下委員、操野委員、沼本委員、服部委員、原委員、森田委員、矢野委員、 事務局：山本課長、神田主査 欠席：山田委員
議題	(1) 生涯学習推進指針（案）について (2) 今後の予定について (3) 報告 その他
配布資料	資料1 西東京市生涯学習推進指針(平成26年度～平成35年度)（案） 資料2 西東京市社会教育委員の会議活動予定(平成26年1月～平成27年6月)案 資料3 今後の社会教育委員の会議日程(案) 資料4 平成26年度都市社連協役員会等事業日程表 資料5 第45回関東甲信越静社会教育研究大会(神奈川大会)開催要項(素案) 資料6 第56回全国社会教育研究大会徳島大会の分科会における実践事例発表候補者について ・みんなの生涯学習 115 ・図書館だより第52号
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
平成25年1月定例会議の会議録を承認する。	
議題 (1) 生涯学習推進指針（案）について	
○事務局	
配布資料1「西東京市生涯学習推進指針(平成26年度～平成35年度)案)」について報告。	
・指針（案）の作成にあたっては、社会教育委員の皆様にも活発なご意見をいただき、ありがとうございました。前回会議終了後、庁内検討委員会、部内調整等を経て、資料1のとおり、指針(案)を確定した。今後、2月22日の教育委員会に報告し、首脳部会議の協議を経て決定する予定である。	
・次年度予算で、生涯学習の推進についての周知を図るため、指針の印刷製本費を計上した。	

議題 (2) 今後の予定について

○事務局：

配布資料2～6に添って、今後の活動予定について説明。

・活動の各項目については、進め方や取り組み内容も含め、今後検討を深めていく事になるが、今後の作業内容とスケジュールについてご確認いただきたい。

1. 東京都市町村社会教育委員連絡協議会について

・平成26年度は、社連協の副会長市としての任務がある。

・秋ごろから、平成27年度の役員会・理事会の設定、交流大会の内容決定、総会の準備等を行うことになる。

2. 提言の依頼について

・今後の社会教育施策の推進に向けた取り組みについて検討して頂き、そのために必要な社会教育行政の運営体制も含め、提言をいただきたいと考えている。

・平成25年6月に出された「社会教育施策の今後のあり方について(提言)」の内容を具体化していく内容になると思う。

3. 検討事項について

・第45回関東甲信越静社会教育研究大会(神奈川大会)での分科会「社会教育施設のあり方」の事例発表の依頼が会長市の羽村市からあった。引き受けるかどうか検討してほしい。

「主な意見」

○議長：

今後の活動予定もみながら、11月の関東甲信越静社会教育研究大会での事例発表についてご意見を伺いたい。

○事務局：

今回の大会では、分科会の事例発表が3つの予定なので発表時間は30分程度だと思う。準備としては、報告内容を決め、当日の発表者決定、発表資料の作成等がある。他の2市の報告内容もまだ未定である。

○委員：

社会教育委員として「社会教育施設のあり方」という内容で活動事例があるだろうか。

○委員：

西東京市の場合は、公民館には公民館運営審議会、図書館には図書館協議会委員が設置されていて、それぞれに活動している。公民館、図書館にかかわって、社会教育委員の活動として何か活動をしてきたかという点と難しい。

○委員：

社会教育委員がやってきたことでなくても、事例として出せるものがあるのではないだろうか。西東京市の地域の力が示せばよい。

○委員：

西東京市では社会教育施設として公民館や図書館がこういった活動をしているという報告でもいいのではないか。

○委員：

市民は、公民館や図書館だけではなく、コミュニティ施設や文化施設などいろいろな所で学習活動をしている。社会教育施設ならではの内容を求められているのだろうか。

○委員：

公民館運営審議会委員や図書館協議会委員の方たちとお互いに知り合っ話し合える機会を持ったらどうか。その人たちの話を聞くと、何かヒントが得られるのではないか。お互い交流する機会を持つことが大切だろう。

○委員：

大会での発表の機会は、西東京市がどういう活動をしているのかをPR出来るよい機会だと思う。

○委員：

研究大会で事例発表をするなら我々も力をつけていく必要がある。

○委員：

社会教育委員として、前回の提言で、公民館、図書館との連携も含め今後の施策の方向性を示したという経過がある。次回提言に向け、具体的な取り組みを検討するためには、社会教育委員として公民館、図書館の状況理解し連携を考えていく必要があるだろう。

○事務局：

前回の提言でご指摘があったように、本来、社会教育課は行政として、教育機関である公民館、図書館の取りまとめの役割を担っていると考えているが、現実にはなかなかそうなっていない状況がある。そのため、現在、平成27年度の組織改正に向け、社会教育課、公民館、図書館の役割の見直しに向け調整を進めているところである。平成26年度中には、課長、館長、係長等の実務者レベルでの検討、調整を進め、組織改正に向けた主張に沿う形での取り組みを進めていきたいと考えている。

○委員：

今回の事例発表に向けた調査、検討が次回の提言にも生かされる部分があるのではないか。

○委員：

発表に向けた学習プロセス自体が社会教育委員の活動事例ともいえるだろう。

○議長：

事例発表を引き受けるということで、よろしいか。

- 全委員：
了承した。

議題 (3) 報告、その他

1. 委員研修会 (3月17日) について

- 事務局：
公民館、図書館の関係職員や公民館運営審議会委員、図書館協議会委員等にも周知をした。
- 議長：
研修会に向け、希望があれば出していただきたい。
- 講師：
事例についてお話をし、参加者の方たちの議論を中心に進めたいと考えている。
- 委員：
今後の社会教育施策として何が重要か教えていただきたい。
- 講師：
今後の学習支援は、学習者の成熟度の度合いによって支援策は異なるのではないかと考えている。
- 委員：
障害者への生涯学習についてはどう考えるのか。何か事例があれば教えて頂きたい。
- 委員：
障害者に関連しては、おもちゃを通じて地域の親子が交流できるよう、障害児向けのおもちゃを用意した「おもちゃ図書館事業」などが行われていたと思う。
- 事務局：
社会教育事業としては、自宅訪問の形での学習機会の提供や公民館の障害者青年学級などの取り組みが事例としてあるだろう。
- 講師：
院内学級やインターネットを使ったeラーニングなどもある。参考になる事例があれば調べてみます。

2. 都市社連協交流大会 (12月7日) の報告

参加した委員より、報告および感想

「主な意見」

- 委員：
グループ討議に出たが、他市の社会教育委員は西東京市ほど会議をやっていないと感じ

た。会議で活発に話をするのが大切だと思うが、グループでの話し合いは消極的な印象を持った。役割分担もファシリテーターなどカタカナ語でなく分かり易い言葉を使うことも必要ではないか。

○委員：

話し合いを聞いていると、社会教育委員としての認識がしっかり持てていないように感じた。学んだことを相手に返す、公的な場に還元することが大切だと感じた。

○委員：

自己紹介や各自の活動の報告で終わった感じがした。

○委員：

放課後子供教室に関わっている委員が多かった

○委員：

生涯学習と社会教育の関係については、理解がむずかしかったようだ。グループ討議でも専門的に助言してくれる人がいるとよかったと思う。

○議長：

平成26年度中には、次期会長市として平成27年度の交流大会を企画することになる。今回の内容や感想等を生かして企画できればと思う。

3. 教育計画策定懇談会（12月26日・1月24日・2月13日）の報告

○議長：

次期教育計画が完成し、懇談会も2月13日をもって終了した。副座長として、座長と一緒に教育長に成案を提出する予定である。

○議長：

以上で本日の社会教育委員の会議（2月定例会）は終了する。

※次回会議 研修会：平成26年3月17日（月曜日）午後2時

定例会：平成26年3月17日（月曜日）午後4時